



11/18 (金) 富山市



左：石田議長 右：今本副市長

富山市に対し、6課題37項目について、『2023年度予算編成に向けた政策・制度要求書』を今本副市長と手交してきました。

はじめに、石田議長より『第18回定期総会を先日終え、富山地協は働くものの現状と地域の現況を皆で認識し、改めて繋がり合いを大切にすることを確認し、新年度スタートしました。コロナの影響・物価高騰、少子高齢化社会等の社会に取り巻く課題について、働くもの・生活者の視点で捉え、要望を取りまとめてきました。富山市の予算編成に反映されたいと思いますので、よろしくお願いたします』と挨拶があり、

今本副市長からは「富山市（単独自治体）として、取組みができるもの、県・国と連携して取り組みを進めていかなければならない課題がある。「富山市は他の自治体よりも柔軟に対応してきていることをご理解いただきたい」と話が合った。富山地協・副議長から業種の抱えている課題について、富山市からのさらなるご理解とご協力を賜りたいと話が合った。最後に来年2月までに文書での回答をいただくことをお願いし、手交式を終えました。

12/20 (火) 上市町



左：中川町長 右：石田議長

上市町に対し、7課題27項目について、『2023年度予算編成に向けた政策・制度要求書』を提出してきました。石田議長より、「連合富山の重点政策を踏まえ、社会に取り巻く課題について、働くもの・生活者の視点で捉え、要望を取りまとめてきました。上市町の福祉政策の向上のため予算編成に反映されたいと思いますので、よろしくお願いたします』と挨拶があり、藤井事務局長からは、主な要求内容について説明をしました。

中川町長からは、「地域医療への支援については、町単独では難しく、県や国との連携が不可欠であり、医療現場、保育の現場など同じ職場で働く仲間が等しく補償されるよう、県に働きかけているところです。コロナ禍での教育現場の変化として、1人1台のタブレット端末の支給については教育現場の省力化に一定の効果が評価している。今後も住民福祉の向上、満足度の高い町政を努めますので、ご理解とご協力をお願いします。」と話がありました。来年2月までの回答をお願いし、手交式を終えました。

12/20 (火) 立山町

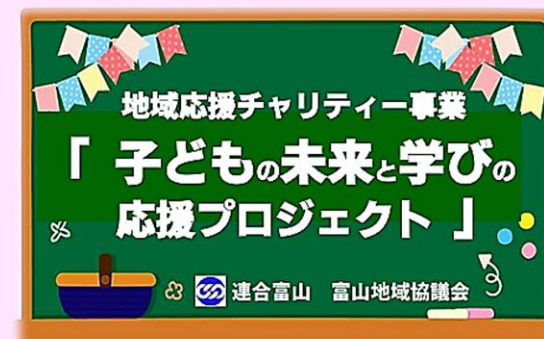
立山町に対し、7課題26項目について、『2023年度予算編成に向けた政策・制度要求書』を提出してきました。石田議長より、「立山町で働く組合からの意見、要望を取りまとめてきましたので、よろしくお願いたします。また、今年度は、立山町在住組合員による私たちが働き・暮らす地域の現状や課題、そして、未来を考える機会として、『MY TOWN ミーティング』をめざすので、ご協力をいただきたいと」挨拶があり、藤井事務局長から主な要求内容について説明をしました。

舟橋町長からは「以前から町政について、立山町に住む人や働いている方々と話す交流場を設けていただきたいと思っており、是非とも実現できるように調整いただきたい。また、マスコミに報道されている通り、小学校新入学児童への通学用カバンは非常に一般の方からも人気があり、カバンの支給については、自分の任期中は予算を確保しております。今後もより良い町政に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。」と挨拶があり、来年2月を目途に回答をお願いし、手交式を終えました。



左：舟橋町長 右：石田議長

～ 地域応援チャリティー事業 ～



富山地協は、レクリエーション活動を通して、子どもの未来の学びの応援プロジェクトの活動の趣旨にご理解いただき、カンパ金を募ってきました。

皆さんからいただいた浄財は児童図書として富山市立藤ノ木小学校に寄贈させていただきました。

日時：2022年12月7日(水) 10:00～
寄贈先：富山市立 藤ノ木小学校
寄贈品：児童図書 50点
出席者：藤ノ木小学校 平井 久美子 校長
橋本 雅雄 富山市議 後藤 肇(富山地協 副議長) 藤井 光行(富山地協 事務局長)



左：後藤副議長 右：平井校長

